

事業名 CD	0103010602	健康ふれあいセンター管理事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	小項目	健康づくりの推進	
関連する個別計画等		根拠条例等	葦崎市健康ふれあいセンター設置、管理及び使用料条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	利用者のふれあいと、交流を促進し、余暇の充実、健康と福祉の増進を図ること。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民及び市外からの利用者（観光客を含む）、指定管理者
これまでの改善経過	平成15年4月より、使用料の料金改定。大広間・個室の畳替え、露天に休憩コーナー設置。平成18年10月より指定管理者制度導入（料金改定）。平成19年7月より、一ヶ月フリーパスの導入。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 □市 ■委託 □補助金 □その他（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の設備は、1階に45mの流れる温水プール、子供プールなど家族で楽しめるウオーターガーデンと4種類のウエット・ドライサウナ、露天風呂に圧注浴、気泡浴、噴水浴、打たせ湯、寝湯などのアトラクション。2階に、休憩室の72畳の大広間（無料）、12畳の個室4室（有料）がある。 利用時間 午前10時～午後9時まで 利用料金 市内大人300円/小学生以下200円 市外大人700円/小学生以下400円（平成18年10月より改定） 休館日 毎週月曜日(但、祝祭日の場合はその翌日) 年未年始は12月31日～1月1日 指定管理者 ㈱キッツウエルネス 平成18年10月1日から平成25年3月31日
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	利用者の健康の増進、余暇の活用による福祉の向上を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	42,185	33,012	33,686
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	42,185	33,012	33,686
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	1.00	0.36	0.50
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	6,909	2,456	3,359
D	総事業費(A+C) (千円)	49,094	35,468	37,045
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	1,158 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円),21年度(6,823千円),22年度(6,719千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	年間開館日数	(日)	311	310	312
	委託料 (算出式数値)	(年間：千円)	33,852	29,000	29,000
成果指標	市内利用者	(人)	99,691	100,578	101,289
	市外利用者	(人)	24,316	22,671	21,731
	年間利用料金収入額	(千円)	77,170	69,522	68,268
	市民一人当たり年間平均利用回数 (年間)	市内利用者 101,289 人 / 韮崎市人口 31,987 人 (5 月 1 日現在)	3.08	3.13	3.15
効率指標	水道光熱費	(千円)	32,199	26,013	28,147
	利用者一人当りに必要なコスト (算出式数値)	総事業費 / 総利用者 (円)	395	287	301
	水道光熱費削減率	前年度 - 本年度 / 前年度 (%)	2	19	-8

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 効率的な施設運営のため指定管理者制度を導入 (H18.10~H25.3) できた点など、手段運営には妥当性がある。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 景気低迷に加え、東日本大震災により市外からの旅行者が減ったり、周辺他施設との競合により、市外者の利用者数と収入が大幅に減っている。その反面、市内利用者が増えており、市民一人当たり平均年間 3 回以上の利用があり、リピーターは確実に増えており役割は果たされている。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 水道光熱代は、夏季の異常高温による電気使用量の増大により 8% 上昇した。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
---------	--

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 開館 10 年を経過し、15 年・20 年となる中で大規模な改修や補強の必要が高ずる。	(2) 24 年度 24 年度中に指定管理者の再募集。	(3) 23 年度 基本協定書・事業計画書に基づいた管理運営 (サービス向上、利用者の増加、利用者の意見に対する対応、安全管理等) のチェックと、指定管理者に対し定例ミーティングを行い事業目的の達成を図る。
	22 年度の改善計画 井戸水の有効利用のため、市水受水槽への混入配管等改造工事を実施する (キットにて工事費用負担)。		
22 年度の改善結果 井戸水の有効利用のため配管等改造工事を実施、12 月 28 日から市水受水槽への混入開始、平成 23 年度以降の水道代大幅に減少する見込み。			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)

課長所見	市外利用者は減ったものの、きめ細やかな割引制度や対応により、市内在住者の利用は増え市民の健康と福祉の増進に役立つことができた。
------	---